

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立吉和中学校	校 長	佐野 元章	生徒指導主事	木曾 一希
取組事例名	学級活動『仲間とともに高め合おう』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
昨年度の取組 ◇ ユニバーサルデザインの視点を生かした思考を整理する場の設定 取組の意図 安心して失敗ができる学習環境から、授業での主体性や協同性を育み、自分から挑戦し仲間と響き合う生徒の育成を目指す。	課題発見解決力 学級の諸問題を話し合って解決できる。 協調性 多様な意見を認めて合意形成を図る。 ↓ 人間関係形成 ：他者と協働して学校生活の向上

2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
① 文化祭を振り返る。 ・文化祭前に立てた目標の掲示物を再度確認させる。 ・文化祭の取組をパワーポイントで振り返る。 ② ねらいを確認する。 文化祭での自他の頑張りに気づき、今後の生活における行動目標を決定することができる。 ③ 文化祭の成果と課題を整理する。 ・ワークシートに文化祭の「成果」と「課題」を記入する。【個人→小集団】 ※ 司会、記録、発表者などの役割分担の確認 ※ 話し合いルールの確認（ルールは学級活動で決定済） ・小集団で出した意見は Canva で全体に共有する。 ・小集団で話し合った内容を学級委員が中心になって整理する。（グルーピング） ④ 「みんなでこれから頑張っていきたいこと」を考える。 ・ワークシートに記入する。【個人→小集団】 ・小集団で学級に適した行動目標を考えて全体に伝える。 ・意見の共通点を自分達で話し合いながら見つける。 ※ 第 1 学年の授業なので教員がファシリテーターする。学年があがるにつれて生徒主体で決めさせる。 ⑤ 決定事項を確認する。	生徒にめあてをもたせるために ◇ 吉中太鼓の練習を核として、学校教育全体で、目標を持って行動することで「わかる・できる」機会の充実を図る。 ◇ 自分たちで立てた目標を常に見える位置に掲示する。単発の掲示ではなく、1 年を通じたつながりのある掲示物を作成する。 生徒の意欲を高めるために ◇ 安全・安心な集団づくりのために、話し合いのルールを自分たちで決める。 ◇ 学校行事と結びつけ、必要なタイミングで話し合いを充実させる。 ◇ 他学年の思いを共有する掲示物を作成して、心の交流を図る。 生徒の頑張りを認め、価値付けるために ◇ 学校行事の後、他学年に向けたメッセージを掲示したり、通信を使って発信したりすることで、生徒同士で認め合う機会を充実させる。 ◇ 授業内での取組にとどまらず、HRでの声かけを担当以外の人からもできるようにする。

3 成果と課題

成果（生徒アンケート 8 月・12 月より） ① 班活動などでは、積極的に自分の意見を他の生徒に伝えています。 77.3%→90.9% ② 自分のよさはまわりの人から認められていると思いますか。 81.8%→95.5% 課題 全体の意見を聞いて合意形成をはかれる生徒のスキルと安心して失敗できる風土を醸成すること。
